

**ビジネス科 2年D組**

教 科	商 業	科目(単位)	財務会計 I (5 単位)
使用教科書	財務会計 I (TAC)		
授業形態	通常授業 • <b>分割授業</b> • TT		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※TT (チームティーティング) とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

**1 科目の目標**

商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようする。
- (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

**2 科目の内容と授業の進め方**

- ・会計の諸活動に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、会計に対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けます。
- ・会計の諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けます。

**3 学習の方法**

- ・「財務会計 I」では「簿記」と同様に、赤ボールペンや電卓などを利用します。また「財務会計」では「簿記」以上に会計規則について学習することが重要です。教科書巻末の企業会計原則、商法、商法施行規則、金融商品会計基準などの資料を活用するようしましょう。
- ・「財務会計 I」そのものはきわめて奥の深い科目です。書店などで、会計学・財務諸表論といった科目の入門書などを自分で購入して学習能力をアップさせましょう。また、授業の復習を必ず行い、各資格試験に挑戦し、合格しましょう。

**4 課題・補習について**

- ・項目ごとに随時小テストを行います。
- ・点数が低い者は補習を行います。

**5 この授業で取得可能な資格（検定試験）**

- ・日商簿記検定 2級、全商簿記実務検定 1級会計

**6 観点別学習状況の評価のポイント**

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術を身に付けていく。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を身に付けていく。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けていく。

ビジネス科 2年D組

教 科	商 業	科目(単位)	財務会計 I (5単位)
-----	-----	--------	--------------

7 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1編 財務会計の基礎 企業会計と会計公準 企業会計制度	・企業会計を通して財務会計の基礎的な内容について理解する。	行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト 単元テスト
5	第2編 貸借対照表 貸借対照表の概要 資産の分類・評価 負債の分類 現金預金 金銭債権 電子記録債権・電子記録債務 棚卸資産 有価証券 有形固定資産 リース取引 無形固定資産 研究開発費とソフトウェア 引当金 純資産（その1） 純資産（その2） 純資産（その3） 貸借対照表の作成方法	・貸借対照表の項目のうち、まず借方の「資産」について、意味・分類・評価方法、さらに資産の種類別の会計処理法などを理解する。  ・貸方の「負債」と「純資産」について、それぞれ意味・分類・会計処理などを理解する。	前期中間考査 行動観察 問題集点検 プリント点検
6		・報告式の貸借対照表の表示区分と作成方法について扱い、資料を基に報告式の貸借対照表の作成方法を学習する。	課題 課題考査 前期末考査
7			
8			
9			
10			
11	第3編 損益計算書 損益計算書の概要 損益計算の基準 役務の提供と工事契約 掛代金の割引 外貨建て取引	・報告式の損益計算書の表示区分と作成方法を学習し、期間損益計算の意義をとらえ損益に関する認識基準や原則を理解する。  日商簿記検定 2級	後期中間考査
12	法人税等と税効果会計 損益計算書の作成方法 その他の財務諸表	・企業会計上の利益と税法上の課税所得の違い、税効果会計の意義及び将来減算一時差異と将来加算一時差異に関する基礎的な会計処理を身に付ける。 ・損益計算書の作成に関する原則を学習し、作成方法を身に付ける。  全商簿記実務検定 1級 会計	
1	第4編 財務諸表の活用 ディスクロージャー制度 財務諸表分析 連結財務諸表	・企業の経営成績や財政状態の良否を判断し、その良否の原因を明らかにするために、財務諸表の数値を利用した分析や比較を理解する。	行動観察 問題集点検 プリント点検 課題 小テスト
2	検定試験問題演習  総復習	・全商簿記実務検定1級（会計）受験対策として、過去問題を中心に演習する。  日商簿記検定 2級  ・1年間の総復習を行い、再確認をする。	課題 小テスト  学年末考査
3			